



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年11月8日

上場会社名 株式会社ラウンドワン 上場取引所 東
 コード番号 4680 URL http://www.round1.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉野 公彦
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 佐々江 慎二 TEL 06-6647-6600
 四半期報告書提出予定日 2019年11月11日 配当支払開始予定日 2019年12月3日
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切り捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	53,188	8.8	5,813	24.7	5,702	26.4	3,705	23.5
2019年3月期第2四半期	48,869	5.7	4,660	9.2	4,511	10.7	3,001	22.2

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 3,172百万円 (△19.7%) 2019年3月期第2四半期 3,951百万円 (57.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	38.90	—
2019年3月期第2四半期	31.50	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	116,999	64,859	55.3	679.28
2019年3月期	117,346	62,604	53.3	655.99

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 64,709百万円 2019年3月期 62,490百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2020年3月期	—	10.00	—	—	—
2020年3月期 (予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	107,640	6.2	11,810	3.2	11,600	3.4	6,420	△10.3	67.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社 （社名）Round One Rus LLC

（注）詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	95,452,914株	2019年3月期	95,452,914株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	192,135株	2019年3月期	191,240株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	95,261,186株	2019年3月期2Q	95,262,930株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	7
(セグメント情報)	7
3. その他	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、高水準な企業収益を背景に設備投資や所得環境、個人消費において緩やかな回復が見られるものの、輸出の低迷が長期化する等、先行き不透明な状況が続きました。

他方、世界経済におきましても米中貿易問題の長期化や英国EU離脱問題における合意なき離脱への懸念等により景気の足踏み感が見られ、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは日本において、全国のラウンドワンでリアルタイムに通信し、プロボウラーに挑戦できる「全国LIVEチャレンジマッチ」や著名人による「全国LIVEファンイベント」等の「ROUND 1 LIVE」を利用した新たな企画を実施いたしました。また、カラオケ設置店舗において、長編映像やミュージックビデオ、ライブビューイング等の「みる」コンテンツを楽しむことができる「JOYSOUND MAX GO」を導入いたしました。

米国においては、営業基盤拡大の為、2019年7月にサウスランド店(カリフォルニア州)、同年8月にメドワード店(ネバダ州)を出店いたしました。また、米国版のラウンドワンアプリによるクーポンの配布や週末の営業時間延長、ハードリカーの提供を順次開始しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高53,188百万円(前年同四半期比8.8%増)、営業利益5,813百万円(同24.7%増)、経常利益5,702百万円(同26.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益3,705百万円(同23.5%増)となりました。

また、当社が運営する屋内型複合レジャー施設は、お盆期間やお正月期間等長期休暇の多い第2四半期及び第4四半期に売上高が増加する傾向があり、四半期毎で経営成績の偏りが生じます。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

(日本)

「全国LIVEチャレンジマッチ」「全国LIVEファンイベント」「LIVE de キャッシュバッククエスト」等の企画を「ROUND 1 LIVE」を利用して新たに実施いたしました。また、カラオケにおいては「JOYSOUND MAX GO」を導入し、アミューズメントにおいても最新音楽ゲーム機種である「maimaiでらっくす」及び「WACCA」を導入しております。

以上の結果、ボウリングは前年同四半期比1.6%増、アミューズメントは同6.9%増、カラオケは同2.4%増、スポーツチャは同1.9%増となりました。

(米国)

米国における営業基盤を拡大すべく、新規店舗の出店を進めるほか、市場における認知度を向上させるため、「Anime EXPO2019」に出店し、周知を図りました。また、米国版のラウンドワンアプリの配信を開始し、クーポンの配布を開始するほか、週末における営業時間の延長やハードリカーの提供を順次開始しております。

以上の結果、ボウリングは前年同四半期比28.5%増、アミューズメントは同36.3%増、カラオケは同25.3%増となりました。

(その他)

その他の事業セグメントにおいては、日本・米国以外の地域に出店準備を進めております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ347百万円減少の116,999百万円となりました。この要因は、現金及び預金が2,656百万円減少、前払費用が544百万円増加、売掛金が502百万円減少、貯蔵品が221百万円増加、未収入金が135百万円減少したこと等による流動資産の減少2,524百万円と、建設仮勘定が2,840百万円増加、アミューズ機器(純額)が1,335百万円増加、繰延税金資産が859百万円減少、建物及び構築物(純額)が723百万円減少、差入保証金が433百万円減少したこと等による固定資産の増加2,177百万円によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ2,601百万円減少の52,140百万円となりました。この要因は、リース債務が1,384百万円減少、未払金が629百万円減少、設備未払金が228百万円減少したこと等による流動負債の減少2,202百万円、長期借入金が1,299百万円減少、長期預り金が508百万円増加、未払金が502百万円増加、社債が412百万円減少、リース債務が219百万円増加、繰延税金負債が83百万円増加したこと等による固定負債の減少398百万円によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ2,254百万円増加の64,859百万円となりました。この要因は、為替換算調整勘定が532百万円減少、剰余金の配当952百万円による減少と親会社株主に帰属する四半期純利益3,705百万円の計上により利益剰余金が2,752百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は55.3%(前連結会計年度末は53.3%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年5月8日に公表しました通期の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、2019年11月8日公表の「2020年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,524	19,868
売掛金	1,182	679
商品	429	432
貯蔵品	2,105	2,327
その他	2,429	2,840
流動資産合計	28,671	26,147
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	78,669	78,945
減価償却累計額	△38,121	△39,121
建物及び構築物（純額）	40,547	39,824
土地	5,736	5,736
リース資産	30,990	30,009
減価償却累計額	△12,968	△12,235
リース資産（純額）	18,021	17,774
その他	27,422	33,186
減価償却累計額	△17,822	△19,177
その他（純額）	9,600	14,008
有形固定資産合計	73,905	77,343
無形固定資産		
投資その他の資産	690	736
繰延税金資産	4,571	3,711
差入保証金	9,323	8,890
その他	182	168
投資その他の資産合計	14,078	12,770
固定資産合計	88,674	90,851
資産合計	117,346	116,999

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	350	246
短期借入金	1,441	1,668
1年内償還予定の社債	825	825
1年内返済予定の長期借入金	2,899	2,688
リース債務	9,497	8,113
未払法人税等	1,208	1,093
その他	8,865	8,250
流動負債合計	25,088	22,885
固定負債		
社債	1,675	1,262
長期借入金	6,675	5,376
リース債務	9,568	9,787
資産除去債務	6,099	6,101
その他	5,634	6,726
固定負債合計	29,653	29,254
負債合計	54,741	52,140
純資産の部		
株主資本		
資本金	25,021	25,021
資本剰余金	22,638	22,638
利益剰余金	14,767	17,520
自己株式	△337	△339
株主資本合計	62,089	64,841
その他の包括利益累計額		
土地再評価差額金	△138	△138
為替換算調整勘定	539	6
その他の包括利益累計額合計	400	△132
新株予約権	114	149
純資産合計	62,604	64,859
負債純資産合計	117,346	116,999

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	48,869	53,188
売上原価	42,737	45,692
売上総利益	6,131	7,496
販売費及び一般管理費	1,471	1,682
営業利益	4,660	5,813
営業外収益		
受取利息及び配当金	9	4
業務受託手数料	23	28
受取保険金	6	51
販売協力金収入	35	43
その他	37	26
営業外収益合計	112	154
営業外費用		
支払利息	230	243
その他	30	23
営業外費用合計	261	266
経常利益	4,511	5,702
特別損失		
固定資産除却損	244	298
固定資産売却損	75	—
特別損失合計	319	298
税金等調整前四半期純利益	4,192	5,403
法人税、住民税及び事業税	509	749
法人税等調整額	681	948
法人税等合計	1,190	1,698
四半期純利益	3,001	3,705
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,001	3,705

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	3,001	3,705
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	950	△532
その他の包括利益合計	950	△532
四半期包括利益	3,951	3,172
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,951	3,172
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

連結の範囲の重要な変更

当第2四半期連結会計期間より、ロシア連邦においてRound One Rus LLCを設立したため、連結の範囲に含めております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			四半期連結財務諸表計上金額 (注)
	日本	米国	計	
売上高				
外部顧客への売上高	41,645	7,223	48,869	48,869
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	41,645	7,223	48,869	48,869
セグメント利益	4,054	457	4,511	4,511

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	四半期連結財務諸表計上金額 (注) 2
	日本	米国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	43,491	9,696	53,188	—	53,188
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	43,491	9,696	53,188	—	53,188
セグメント利益又は損失(△)	5,296	423	5,720	△18	5,702

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ロシア連邦等の現地法人の事業活動等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

3. その他

(報告セグメントごとの売上高、利益の推移)

(単位：百万円)

	2015年3月期		2016年3月期		2017年3月期		2018年3月期		2019年3月期	
	日本	米国	日本	米国	日本	米国	日本	米国	日本	米国
売上										
外部顧客への売上高	81,925	1,979	78,348	5,168	80,525	7,250	84,331	11,579	84,976	16,342
セグメント利益又は 損失(△)	6,278	△127	5,159	243	5,416	441	9,335	932	9,769	1,450

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計は、各連結会計年度の連結損益計算書の経常利益と一致しております。